立石自治会報
たていし
10
2023（令和５）年
No.256

モノクロな朝にー。

10月になると、景色は一気に秋の装いに姿を変え、徐々に冬支度へと向かいます。暑かった夏は何処へやら―。気が付けば、いつの間にかひんやりとした空気が漂う過ごしやすい季節になりました。淡い色に包まれるこんな朝は、なお一層秋の深まりを感じさせ、なんとなく心が癒される思いがします。

さて。秋になると、ひときわ存在感を示すのが「セイタカアワダチソウ」。あの鮮やかな黄色い花を見ると、鼻がもぞもぞする方も多いのでは？でも違うんです。セイタカ―は虫媒花の植物で、そもそも花粉が重くて風で飛ぶことがないそうです。では、花粉症の原因になるのはいったい何？って事になりますよね。

それは、セイタカ―と同じ北アメリカ原産でキク科の帰化植物「ブタクサ」だったのです。ブタクサはセイタカ―と違い「風媒花」なので、アレルギーの原因となる花粉をまき散らすのです。

疑いが晴れたセイタカ―。どうだ！と言わんばかりに、モノクロな朝の景色に溶け込んで映えまくっていませんか？

あなたのおうちは大丈夫？
＝内子町木造住宅耐震改修等補助制度のご案内＝

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、概ね100年～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の地震が発生してから70年以上が経過した現在では、次の地震の可能性が高まっています。内子町の震度予想は、平成25年12月16日報告の愛媛県地震被害想定調査結果によると、最大で「震度６」と想定されています。いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震により、特に昭和56年５月以前に建築された古い木造住宅は倒壊する危険性が非常に高く、尊い命が犠牲になるほか、避難路の遮断や大規模な火災にもつながる危険性があります。

そこで、そのような被害を未然に防止するため「住宅の耐震化」は有効な対策の一つ。今月号では、内子町が進めている補助制度についてご紹介します。

《ステップ１》

まずは、おうちの耐震診断から始めましょう。

・耐震診断は３千円から実施可能です！

《ステップ２》

診断結果の次は、補助金を活用した住宅の耐震化を。

・住宅耐震改修補助（設計・工事）は最大で146万円

他にも…。

・耐風改修補助

・住宅段階的改修補助

・一部屋ごとのシェルター設置補助

などなど、メニューも豊富です。

◎木造住宅耐震改修等補助事業の流れ

(1)次の２つの内、いずれかを選択します。

①耐震診断技術者派遣方式

耐震診断費用は町が負担しますが、評価料は次の通りで自己負担です。

・耐震評価委員会（年６回受付）　３千円

・建築住宅センター（随時受付）　９千９百円

②耐震診断補助方式

耐震診断にかかった経費　　上限６万円

←

(2)耐震診断で得られた評点の考え方

①1.5以上　倒壊しない（十分耐震性あり）

②1.0以上1.5未満　一応倒壊しない（耐震性あり）

③1.0未満　倒壊する可能性がある、または可能性が高い（耐震性なし）

←

(3)評点が③の場合、耐震改修補助（設計）を受けることができます。

秋祭り／獅子舞（氏子舞）について

立石獅子舞保存会では、来る10月20日の秋祭り当日、４年ぶりの「氏子舞」を以下のとおり行うこととといたしました。邪気払いとともに、氏子の家内安全と無病息災を願い、心を込めて舞う獅子にどうぞご声援をお願いします。

■日時　**10月20日（金）**　8:00～
（雨天の場合は中止）

■日程　8:00～上組（林家）をスタート
以後、中組方面へ　～12:00
13:00　立石神社で宮出の舞
14:30頃　上の宮でお旅の舞
15:30頃　立石神社で宮入の舞（舞納め）

※６～７名の保存会員がお伺いする予定です。

※ご不在となる場合は、予め、以下までご連絡をいただけると幸いです。

立石獅子舞保存会　会長　亀岡康平（52-3517）

9/18　季節はずれの小玉スイカ

駄場さん（天神下）の畑で採れた黄色い小玉スイカ。その名も「黄坊（きーぼー）」。スイカと言えば夏なのですが、種から育ててこの時期の収穫となりました。皮は黄色でも、中身はしっかり美味しそうな赤色！冷蔵庫にも余裕で入る大きさはいいですよね。駄場さん、美味しく頂きました。ありがとうございました！

○耐震設計にかかった経費　上限30万円

←

(4)設計に基づき、耐震工事を行います。方法は二通りです。

①一回の工事で評点を1.0以上に改修する

・耐震改修補助（改修工事）
改修工事に要した経費　上限110万円

・耐震改修補助（監理）
工事監理に要した経費　上限６万円

・耐震改修補助（耐風改修）
瓦屋根改修にかかった経費の23％補助　上限55・２万円

②大工事になるため、一度評点を0.7以上に改修する

・耐震改修補助（段階的改修工事）
改修工事に要した経費　上限60万円

・耐震改修補助（監理）
工事監理に要した経費　上限６万円

・耐震改修補助（段階的改修残工事）
改修工事に要した経費　上限50万円

《更に・・・》

③一部屋だけでも耐震性のある部屋に改修できます。

・耐震改修補助（シェルター設置工事）
シェルター設置にかかった経費　上限40万円

※補助対象となるのは、それぞれ要した経費の消費税抜きの価格です。いずれも、上限を超える部分は自己負担となります。

※耐震診断だけでも実施は可能です。その結果をみて、その後の設計や工事へと、予算の範囲内で段階的に事業を進めていくことが可能です。

◎耐震診断・改修補助の対象となる住宅は次の項目に該当するものです。

補助対象となるための必須項目	診断	設計	監理	改修	段階	シェルター
(1) 昭和56年5月31日以前に着工された住宅	○	○	○	○	○	○
(2) 軸組工法により建築された木造住宅	○	○	○	○	○	○
(3) 平屋または２階建て住宅（併用住宅を含む）	○	○	○	○	○	○
(4) 延べ床面積が500㎡以下の住宅	○	○	○	○	○	○
(5) 愛媛県木造住宅耐震診断登録事務所の診断設計監理	○	○	○	○	○	
(6) 総合評点1.0未満が改修後に1.0以上になるもの		○	○	○		
(7) 総合評点0.7未満が改修後に0.7以上になるもの		○	○		○	
(8) 町の登録業者による施工				○	○	
(9) リフォーム瑕疵担保保険加入が必要				○		
(10) 耐震改修に伴う瓦屋根の耐風改修				△		
(11) 県登録の耐震シェルター設置事業者による施工						○

※補助制度についてのお問合せは…内子町役場建設デザイン課建築・営繕係まで　電話　０８９３（４４）６１５７
※自治会や班などでの説明会も可能です！お気軽にご相談ください。　（出典：建設デザイン課作成資料）

敬老会のご案内

地域をあげて長寿を祝う「立石自治会敬老会」を、以下のとおり３年ぶりに開催致します。該当者の皆さん、ぜひご参加ください。

■日時　**11月12日（日）**
11:00～　式典
11:40～　祝宴・芸能発表

■場所　立石自治会館講堂

■招待者　11月12日現在で70歳以上の方
（S28.11.11以前にお生まれの方）

■お申込み等
・10月班長会で該当者・出席者の確認依頼を各班長さんに行います。出席希望者へは、11月上旬にご案内状をお送りします。
・米寿（昭和11年生）、結婚50年をお迎えのご夫婦は、班長さんへその旨お知らせください。
・その他、詳しくは文化部員までお尋ねください。

ふるさとまつりに出店

立石自治会では、小田の郷ふるさとまつりを盛り上げるために、自治会ブースへ出店する予定です。文化と産業の祭典に、ぜひご家族・ご近所お誘い合わせてご来場ください。

■日時　**11月5日（日）**　9:00～15:00
■場所　道の駅・小田の郷せせらぎ裏
■出店内容　おでん　他

2019年
小田の郷ふるさとまつり
出店の様子

10 月 8 日（日）～ 11 月 11 日（土）

暮らしの情報カレンダー

各団体の行事予定をはじめ、楽しい話題、珍しい野菜や果物、面白い出来事―。なんでも結構です。広報部までどしどしお寄せください。

日	月	火	水	木	金	土
8 ■小田地区球技大会	9 スポーツの日	10 ◆行政相談 / 小田自治センター（9:30~） 燃えるゴミ	11	12 資源ごみ（空き缶）	13 燃えるゴミ	14
15	16	17 燃えるゴミ	18	19 資源ごみ（びん、ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ外）	20 ■秋祭り 燃えるゴミ	21
22	23	24 燃えるゴミ	25	26 燃えないゴミ	27 燃えるゴミ	28
29	30	31 燃えるゴミ	11/1	2 資源ごみ（古紙）	3 文化の日 燃えるゴミ	4
5 ■小田の郷ふるさとまつり / 文化交流センタースバル・せせらぎ（9:00~）	6	7 ■班長会 (19:30~) 燃えるゴミ	8	9 資源ごみ（空き缶）	10 燃えるゴミ	11

※毎週木曜日（19:30 ～）はワンバウンドバレーの練習日！

発行／立石自治会　〒 791-3505　愛媛県喜多郡内子町立石 936 番地　TEL 0892-52-2977　E-mail tateishi-jichikai@gmail.com　http://www6.plala.or.jp/tateishi/

●人のうごき（R5.10.1 現在）

世帯数	87 世帯	(0)
人　口	158 人	(0)
男	70 人	(0)
女	88 人	(0)

（）…前月比

●自治会館等掃除当番

１０月　天神中
１１月　上組

編集幸記

めちゃくちゃ暑かった夏がやっと終わりを告げ、季節は今や豊穣の秋―。朝夕、急に涼しくなりました。秋の夜長に耳を澄ますと、そこには秋の虫たちの大合唱！癒されますよねぇ～。秋の虫の代表格といえばバッタですが、左の写真は動いていた車のボンネットにしっかりしがみついていた執念の塊（笑）。一体、どこからくっついて来たものか・・・。（敦）